# プログラム

# 9月26日（土）

## 第１会場

### 開会の辞

9月26日（土） 9：25 ～ 9：30

### JES We Can 企画 2026

9月26日（土） 9：30 ～ 10：45

**GenderとSexを考える**

座長：中島　康代
（JCHO 群馬中央病院　糖尿病センター（糖尿病内分泌内科））

石田　恵美
（群馬大学生体調節研究所　代謝疾患医科学分野）

**JES-1　日本内分泌学会 創設100周年を祝して**

演者：槙田　紀子
（東京大学医学部附属病院　腎臓・内分泌内科）

**JES-2　性別・世代別にみた会員意識の違い**
**ー日本内分泌学会100周年記念アンケートから**

演者：阿部　清美
（埼玉県立小児医療センター代謝・内分泌科）

**JES-3　SexとGender：診療に役立つ性の多様性の基礎知識**

演者：石井　智弘
（東京都立小児総合医療センター　内分泌・代謝科）

**JES-4　日本の働き方・キャリア・多様性　―データと海外での経験から考える―**

演者：鈴木　佐和子
（千葉大学大学院医学研究院　内分泌代謝・血液・老年内科学）

## シンポジウム1

9月26日（土） 10：50 ～ 12：10

**内分泌外科はここまで進化した―内分泌内科医にも知って欲しい手術の最前線**

座長：田辺　晶代
（国立国際医療センター　糖尿病内分泌代謝科）

登坂　雅彦
（虎の門病院　間脳下垂体外科）

**SY1-1　内分泌外科はここまで進化した―内分泌内科医にも知って欲しい手術の最前線**

演者：筒井　英光
（東京医科大学　呼吸器・甲状腺外科学分野）

**SY1-2　内分泌内科医に知っていただきたいロボット支援副腎摘除術**
**―手術適応から周術期管理まで―**

演者：佐藤　航大
（千葉大学医学部附属病院泌尿器科）

**SY1-3　下垂体部腫瘍性病変に対する手術の進歩と治療戦略の変化**

演者：福原　紀章
（虎の門病院　間脳下垂体外科）

## ランチョンセミナー1

9月26日（土） 12：30 ～ 13：20

**見逃さない甲状腺眼症！～内科と眼科のチームアプローチ～**

座長：橋本　貢士
（獨協医科大学埼玉医療センター　糖代謝・内分泌内科）

**1　治らないは本当か？～甲状腺眼症治療の新時代～**

演者：龍井　苑子
（北里大学医療衛生学部　視覚機能療法学専攻）

**2　見逃さない甲状腺眼症：早期診断と治療介入のタイミング**

演者：槙田　紀子
（東京大学大学院医学系研究科　内分泌病態学）

**共催：アムジェン株式会社**

## 特別講演

9月26日（土） 13：30 ～ 14：10

### SL　2型糖尿病とは何か？～真理への終わりなき探究の旅～

座長：森　保道
（虎の門病院　内分泌代謝科（糖尿病・代謝部門））

演者：門脇　孝
（国家公務員共済組合連合会　虎の門病院）

## シンポジウム2

9月26日（土） 14：20 ～ 15：30

### 内分泌医のキャリア形成

座長：江戸　直樹
（航空幕僚監部首席衛生官付 / 帝京大学医学部内科学講座）

#### SY2-1　計画しなかったキャリアの話

演者：辰島　啓太
（虎の門病院　内分泌代謝科）

#### SY2-2　臨床医と病院産業医

演者：五嶋　由紀子
（虎の門病院　内分泌代謝科）

#### SY2-3　自衛隊医官の仕事とキャリア形成

演者：水野　朋子
（防衛医科大学校　公衆衛生学講座）

#### SY2-4　卒後12年目、第三者承継で開業するという選択 ―地域医療の中で内分泌専門性を再構築する―

演者：林　恭秉
（府中すみよしクリニック）

#### SY2-5　私の研究と臨床―日々の疑問を大切に―

演者：星野　良朋
（東京大学医学部附属病院　腎臓・内分泌内科）

## 一般演題 1

9月26日（土） 15：30 ～ 16：15

### O1 間脳下垂体①

座長：天野 耕作
（東京女子医科大学 脳神経外科学講座）

盛田 幸司
（帝京大学医学部 内分泌代謝・糖尿病内科）

**O1-1 先端巨大症に対する術前薬物投与の意義**

伊藤 泰智、天野 耕作、森田 修平、小田 侑一、江口 盛一郎、林 基弘
（東京女子医科大学脳神経外科）

**O1-2 若年・限局性プロラクチン産生腫瘍に対する初期治療としての手術療法の有用性**

松岡 剛[1,2]、高野 幸路[3]、宮沢 良太[1,2]、平山 雅啓[1,2]、石田 敦士[1,2]、善本 晴子[1,2]、白水 秀樹[1,2]、井下 尚子[4]、山田 正三[1]
（森山記念病院間脳下垂体センター[1]、森山記念病院脳神経外科[2]、森山記念病院内分泌・代謝内科[3]、森山記念病院病理検査科[4]）

**O1-3 Cushing病術後におけるACTH・コルチゾールの長期推移と関連因子の探索**

宮川 宏佳[1]、福原 紀章[2]、瀧澤 裕樹[1]、五嶋 由紀子[1]、福原 宏和[2]、登坂 雅彦[2]、辰島 啓太[1]、西岡 宏[2]、竹下 彰[1]
（虎の門病院内分泌代謝科[1]、虎の門病院間脳下垂体外科[2]）

**O1-4 GHRP-2負荷試験が診断および術後評価の一助となった微小TSH産生PitNETの1例**

高橋 直也[1,2]、渡邉 涼香[1,2]、石渡 一樹[1,2]、上 紗央理[1,2]、仲 理允[1,2]、岡野 公亮[1,2]、五十嵐 活志[1,2]、松田 達磨[3]、堀口 健太郎[3]、鈴木 佐和子[1,2]、横手 幸太郎[2]
（千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科[1]、
千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学[2]、千葉大学医学部附属病院 脳神経外科[3]）

**O1-5 当院における下垂体偶発腫の特徴と手術成績**

登坂 雅彦[1]、松田 達磨[1]、福原 宏和[1]、福原 紀章[1]、瀧澤 裕樹[1,2]、五嶋 由紀子[2]、辰島 啓太[2]、竹下 章[2]、竹内 靖博[3]、西岡 宏[1]
（虎の門病院 間脳下垂体外科[1]、虎の門病院 内分泌代謝科[2]、虎の門病院 分院[3]）

## 一般演題 2

9月26日（土） 16：15 ～ 17：00

### O2 間脳下垂体②

座長：岡田 正康
（新潟大学脳研究所脳神経外科学分野）

祢津 昌広
（山梨県立中央病院 内科（糖尿病内分泌））

**O2-1 ３系統転写因子（PIT1・TPIT・SF1）が低発現ながら陽性を示した稀な下垂体内分泌腫瘍の一例**

村川 由季[1]、瀧澤 裕樹[1]、五嶋 由紀子[1]、辰島 啓太[1]、伊藤 慎治[2]、福原 宏和[3]、福原 紀章[3]、登坂 雅彦[3]、西岡 宏[3]、竹下 章[1]

（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 内分泌代謝科[1]、
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 病理診断科[2]、
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 間脳下垂体外科[3]）

**O2-2 機械学習による臨床データ解析とシングルセル解析を用いた下垂体神経内分泌腫瘍（PitNET）の分類と特徴**

石倉 俊喜[1,2]、堀口 健太郎[1]、折口 槙一[1]、松田 達磨[1,2]、高 躍[1,2]、樋口 佳則[1]、河野 貴史[2]、田中 知明[2]

（千葉大学医学部附属病院脳神経外科[1]、千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学[2]）

**O2-3 骨浸潤を伴う非機能性PitNETの臨床病理学的特徴**

綿貫 裕[1]、吉川 将史[1]、松本 俊一[1]、吉野 聡[1]、堀口 和彦[1]、山口 玲[2]、登坂 雅彦[3]、山田 英二郎[1]

（群馬大学医学部附属病院内分泌糖尿病内科[1]、群馬大学医学部附属病院脳神経外科[2]、
虎の門病院間脳下垂体外科[3]）

**O2-4 トルコ鞍部黄色肉芽腫性病変（xanthogranulomatous lesions）12例の臨床経過の検討**

岡田 正康[1,2]、清水 宏[3]、他田 真理[3]、小倉 良介[1]、平石 哲也[1]、大石 誠[1]

（新潟大学脳研究所脳神経外科学分野[1]、新潟大学脳研究所寄附研究部門 脳神経疾患先端治療研究部門[2]、
新潟大学脳研究所病理学分野[3]）

**O2-5 汎下垂体機能低下症および尿崩症で発症し，診断に難渋した下垂体原発Adenoid Cystic Carcinomaの一例**

折口 槙一[1,2]、堀口 健太郎[1]、松田 達磨[1]、石倉 俊喜[1,3]、樋口 佳則[1]、鈴木 佐和子[4]、田中 知明[3]、横手 幸太郎[4]、井下 尚子[5]

（千葉大学医学部附属病院脳神経外科[1]、千葉メディカルセンター脳神経外科[2]、
千葉大学医学部附属病院分子病態解析学[3]、千葉大学医学部附属病院内分泌代謝・血液・老年内科学[4]、
森山記念病院病理診断部[5]）

## JES We Can 関東甲信越支部優秀演題賞 表彰式
## 閉会の辞

9月26日（土） 17：00 ～ 17：10

# 第2会場

## 教育講演1

9月26日（土） 9：30 ～ 10：10

**EL1　肥満症診療の現在地 ―治療選択肢と課題―**

座長：曽根　正勝
（聖マリアンナ医科大学　代謝・内分泌内科）

演者：内田　貴康
（国家公務員共済組合連合会　虎の門病院　内分泌代謝科）

**共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社**

## 教育講演2

9月26日（土） 10：10 ～ 10：50

**EL2　甲状腺機能異常をどう診るか―診断のピットフォールと治療選択**

座長：渡邊　奈津子
（伊藤病院　内科）

演者：橋本　貢士
（獨協医科大学埼玉医療センター　糖代謝・内分泌内科）

## 教育講演3

9月26日（土） 10：50 ～ 11：30

**EL3　性分化疾患の診療ガイドラインの実装：多職種チーム医療の果たす key role**

座長：髙澤　啓
（東京科学大学　発生発達病態学分野（小児科））

演者：石井　智弘
（東京都立小児総合医療センター　内分泌・代謝科）

## 教育講演４

9月26日（土） 11：30 ～ 12：20

**視床下部性肥満**

座長：西岡　宏
（国家公務員共済組合連合会　虎の門病院　内分泌センター　間脳下垂体外科）

**EL4-1　視床下部性肥満～成人の視点から～**

演者：堀口　和彦
（群馬大学医学部附属病院　内分泌糖尿病内科）

**EL4-2　後天性視床下部性肥満を理解するために：小児科医の立場から**

演者：磯島　豪
（国家公務員共済組合連合会　虎の門病院　小児科）

**共催：リズムファーマ株式会社**

## ランチョンセミナー２

9月26日（土） 12：30 ～ 13：20

**Patient centricityと成長ホルモン治療**

座長：後藤　広昌
（順天堂大学医学部附属順天堂医院　糖尿病・内分泌内科）

**1　-内科の視点から-**

演者：竹下　章
（虎の門病院　内分泌代謝科（内分泌部門））

**2　-外科の視点から-**

演者：西岡　宏
（虎の門病院　内分泌センター　間脳下垂体外科）

**共催：JCRファーマ株式会社**

## 教育講演5

9月26日（土） 14：20 ～ 15：00

**機能性下垂体腫瘍に関する最新情報**

座長：福田　いずみ
（日本医科大学　内分泌代謝・腎臓内科学）

**EL5-1　PitNET分子病態が織りなす新たな知見**
**～細胞系譜から単一細胞・空間ニッチへ～**

演者：田中　知明
（千葉大学大学院医学研究院　分子病態解析学講座）

**EL5-2　先端巨大症診療アップデート**

演者：大月　道夫
（大阪大学大学院医学系研究科　内分泌・代謝内科、肥満脂肪病態学寄附講座）

**共催：株式会社三和化学研究所　メディカルアフェアーズ部**

## 教育講演6

9月26日（土） 15：00 ～ 15：40

**EL6　糖尿病 ～薬物療法におけるパラダイムシフト～**

座長：鈴木　亮
（東京医科大学病院　糖尿病・代謝・内分泌内科）

演者：能登　洋
（聖路加国際病院内分泌代謝科）

## 教育講演7

9月26日（土） 15：40 ～ 16：20

**EL7　副甲状腺機能低下症診療のパラダイムシフト ― PTH補充療法の新時代**

座長：竹下　章
（虎の門病院　内分泌代謝科（内分泌部門））

演者：槙田　紀子
（東京大学医学部附属病院　腎臓・内分泌内科）

**共催：帝人ファーマ株式会社**

## 教育講演８

9月26日（土） 16：20 ～ 17：00

### EL8　代謝性骨疾患の鑑別診断とその治療

座長：井上　大輔
（帝京大学ちば総合医療センター第三内科学講座（内分泌代謝））

演者：竹内　靖博
（国家公務員共済組合連合会　虎の門病院分院）

**共催：協和キリン株式会社**

# 第３会場

## 一般演題３

9月26日（土） 9：30 ～ 10：24

### O3 間脳下垂体③

座長：長峯　朋子
（日本医科大学大学院医学研究科　糖尿病・内分泌代謝内科）

田原　重志
（日本医科大学武蔵小杉病院　脳神経外科）

**O3-1　当院におけるランゲルハンス細胞組織球症71例の解析：視床下部-下垂体病変27例の臨床的特徴**

福井 直子[1]、佐藤 亜紀[2]
（東京大学医科学研究所附属病院腫瘍・総合内科[1]、東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科[2]）

**O3-2　妊娠後期に急激な視力低下をきたしステロイド投与と下垂体減圧術を施行したリンパ球性下垂体炎の一例**

武藤 梨帆[1]、富山 敬子[1]、秋山 祐子[1]、岩田 桃佳[1]、柴地 悠夏[1]、井関 陽平[1]、亦野 文宏[2]、福田 いずみ[1]、岩部 真人[1]
（日本医科大学大学院医学研究科　内分泌代謝・腎臓内科学分野[1]、日本医科大学付属病院　脳神経外科[2]）

**O3-3　下垂体病変の改善後も下垂体機能障害が残存したIgG4関連下垂体炎疑いの一例**

関 宏子、吉川 雄一郎、小橋 明日香、小野寺 晴子、岡村 ゆか里、宮崎 康
（みさと健和病院　糖尿病内分泌内科）

**O3-4　中枢性尿崩症診断の1年後にIgG4関連下垂体炎と診断した1例**

長谷川 里紗、佐藤 隆明、徳永 帆南、磯貝 真理恵、浅島 雄弥、中村 博至、北澤 勝、鈴木 浩史、石黒 創、松林 泰弘、藤原 和哉、山田 貴穂、曽根 博仁
（新潟大学医歯学総合病院内分泌・代謝内科）

**O3-5　長期安定していたBasedow病患者で低血糖を契機に判明したACTH単独欠損症の1例**

笹井 裕平、山本 由季、三谷 優太
（株式会社日立製作所日立総合病院　代謝内分泌内科）

**O3-6　ACTH単独欠損症を背景に非典型的な経過を辿った亜急性甲状腺炎の一例**

七尾 裕太[1]、辰島 啓太[2]、小川 哲史[1]、棚橋 勇輝[2]、田中 伸一[2]、瀧澤 裕樹[2]、五嶋 由紀子[2]、竹下 章[2]
（虎の門病院医学教育部[1]、虎の門病院内分泌代謝科[2]）

## 一般演題４

9月26日（土） 10：24 ～ 11：18

### O4 間脳下垂体④

座長：寺本 紳一郎
（順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経外科）

瀧澤 裕樹
（虎の門病院 内分泌代謝科（内分泌部門））

**O4-1 小児頭蓋咽頭腫術後の水・電解質の管理**

森口 駿[1]、向山 祐理[1]、岩元 銀河[1]、山本 茉莉[1]、滝沢 文彦[1]、小川 哲史[1]、伊藤 純子[1]、横谷 進[1,3]、福原 宏和[2]、福原 紀章[2]、登坂 雅彦[2]、西岡 宏[2]、山田 正三[2]、磯島 豪[1]
（虎の門病院小児科[1]、虎の門病院間脳下垂体外科[2]、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター[3]）

**O4-2 下垂体腫瘍摘出術後の遅発性低ナトリウム血症を予測する機械学習モデル**

松田 達磨[1,2]、堀口 健太郎[1]、石倉 俊喜[1,2]、折口 槙一[1]、田中 知明[2]、樋口 佳則[1]
（千葉大学脳神経外科[1]、千葉大学分子病態解析学[2]）

**O4-3 急性骨髄性白血病に先行して発症した中枢性尿崩症の一例**

伊野 琳子[1]、浮地 里佳子[1]、鈴木 咲希[1]、鈴木 美香[1]、所 一将[1]、横田 太持[1]、西村 理明[2]
（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科[1]、
東京慈恵会医科大学附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科[2]）

**O4-4 術後覚醒不良の原因として低血糖を認め，診断に至った汎下垂体機能低下症，原発性副腎皮質機能低下症の一例**

森島 憧、鈴木 優矢、原井 望、内田 貴康、松村 公男、長澤 薫、辰島 啓太、竹下 章、森 保道
（虎の門病院 内分泌代謝科）

**O4-5 無痛性甲状腺炎に伴う代謝亢進を契機に顕在化した部分型 Sheehan 症候群による副腎不全の一例**

田村 駿弥[1]、木下 大輔[1,2]、野牛 大暉[1]、石川 崇広[1,2]
（東千葉メディカルセンター代謝・内分泌内科[1]、千葉大学大学院医学研究院総合医科学講座[2]）

**O4-6 ニボルマブによる下垂体性副腎皮質機能低下症と診断されたが、後にホルモン分泌能が回復した１例**

村田 真麻、唐沢 怜、野田 そのみ、三好 泰斗、南 勲
（横浜市立みなと赤十字病院糖尿病内分泌内科）

## 一般演題5

9月26日（土） 11：18 ～ 12：03

### O5 甲状腺①

座長：吉原 愛
（伊藤病院 内科）

山内 元貴
（獨協医科大学埼玉医療センター 糖代謝・内分泌内科）

**O5-1 テプロツムマブ治療終了後に感音難聴を来した甲状腺眼症の一例**

竹内 孔二[1]、石澤 耕太[1]、田中 健一[1]、畔柳 初美[1]、香曽我部 福雄[1]、高村 悠里亜[1]、伴 良行[1]、井上 玲子[1]、鈴木 寛子[2]、横内 裕敬[2]、河合 優一[3]、鈴木 雅明[3]、井上 大輔[1]

（帝京大学ちば総合医療センター第三内科[1]、帝京大学ちば総合医療センター眼科[2]、
帝京大学ちば総合医療センター耳鼻咽喉科[3]）

**O5-2 Basedow病に対し治療成功歴のある抗甲状腺薬再投与により無顆粒球症を発症した1例**

中山 百恵、畑山 明日香、竹入 彩乃、小島 詩織、阿部 公俊、伊藤 新、真山 大輔

（新松戸中央総合病院）

**O5-3 重症甲状腺クリーゼの治療中に、敗血症性ショックで死亡した一例**

金子 真[1]、坂井 良行[1]、堀越 博文[1]、星野 良朋[1]、小堀 勤子[1]、竹内 牧[1]、槙田 紀子[1]、南学 正臣[1]、河田 優介[2]、高野 隼[2]、土井 研人[2]

（東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科[1]、東京大学医学部附属病院救急・集中治療科[2]）

**O5-4 腺腫様甲状腺腫内の嚢胞に*Aeromonas*属感染による甲状腺膿瘍をきたした一例**

齊藤 真子[1,2]、大塚 英明[1,4]、小林 俊介[1,4]、長峯 朋子[1,2]、松井 満美[3]、杉谷 巌[3]、福田 いずみ[1,2]、岩部 真人[1,2]

（日本医科大学大学院医学系研究科内分泌代謝・腎臓内科学分野[1]、
日本医科大学付属病院糖尿病・内分泌代謝内科[2]、日本医科大学付属病院内分泌外科[3]、
日本医科大学千葉北総病院糖尿病・内分泌代謝内科[4]）

**O5-5 正常耐糖能から急速に糖尿病を発症したテプロツムマブ投与後高血糖の1例**

笹月 望、大曽根 朱夏、相葉 南、中村 捷太郎、羽場 彩子、関根 直樹、持田 曜弘、門脇 聡、杉本 大介、佐藤 博亮

（順天堂大学医学部附属浦安病院 糖尿病・内分泌内科）

## ランチョンセミナー3

9月26日（土） 12：30 ～ 13：20

**閉塞性睡眠時無呼吸症候群・循環器疾患の背景に潜む肥満症～診療科連携の重要性～**

座長：森 保道
（虎の門病院 内分泌代謝科（糖尿病・代謝部門））

演者：安達 太郎
（昭和医科大学保健医療学部看護学科/昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門/
昭和医科大学病院附属東病院睡眠医療センター）

**共催：田辺ファーマ株式会社/日本イーライリリー株式会社**

## 一般演題6

9月26日（土） 14：20 ～ 15：05

### O6 研修医・学生

座長：中武　伸元
（亀田総合病院　糖尿病内分泌内科）

滝井　寛隆
（獨協医科大学埼玉医療センター）

**O6-1　バセドウ病再燃で顕在化した自家移植後再発三次性副甲状腺機能亢進症を伴う腫瘍性骨軟化症の1例**

梅野 美紀[1]、高野 倫嘉[2]、武部 沙耶[2]、平田 さおり[2]、平田 清貴[2]、市原 淳弘[2]
（東京女子医科大学病院卒後臨床研修センター[1]、東京女子医科大学病院高血圧・内分泌内科[2]）

**O6-2　食思不振、体重減少を契機に診断したempty sella症候群による視床下部性副腎皮質機能低下症の1例**

財津 未来、八木橋 毅、黒田 裕太、南塚 拓也
（千葉県済生会習志野病院　代謝内科）

**O6-3　GLUD1遺伝子異常による高インスリン血症高アンモニア血症症候群合併妊娠の一例―多診療科連携で管理した周産期経過―**

山口 将吾[1]、竹内 牧[1]、鈴木 研資[2]、佐山 晴亮[2]、利光 正岳[2]、入佐 千晴[3]、田中 裕之[3]、秋山 奈々[4]、小堀 勤子[1]、星野 良朋[1]、堀越 博文[1]、南学 正臣[1]、槙田 紀子[1]
（東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科[1]、東京大学医学部附属病院女性診療科・産科[2]、東京大学医学部附属病院小児科[3]、東京大学医学部附属病院ゲノム診療部[4]）

**O6-4　複視を契機に診断に至り、副鼻腔炎の関与も疑われた下垂体卒中の一例**

高橋 知也[1]、南塚 拓也[1]、八木橋 毅[1]、黒田 裕太[1]、石渡 一樹[2]、鈴木 佐和子[2]、前澤 善朗[2]
（千葉県済生会習志野病院代謝内科[1]、千葉大学医学部附属病院　糖尿病・代謝・内分泌内科[2]）

## 一般演題 7

9月26日（土） 15：05 ～ 15：41

### O7 甲状腺②

座長：堀口 和彦
（群馬大学 医学部附属病院）

竹内 牧
（東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科）

**O7-1 バセドウ病に亜急性甲状腺炎を合併しステロイド治療を行った1例**

松田 弾、結城 伸啓、白石 織栄、中川 純之介、神山 隆治
（総合病院土浦協同病院代謝・内分泌内科）

**O7-2 妊娠20週に胎児バセドウ病を認めた甲状腺全摘後バセドウ病合併妊娠の1例**

新保 香織[1]、佐藤 志織[1]、三小田 亜希子[1]、梅原 永能[2]、細田 愛子[1]、関口 将軌[3]、小宮 力[4]、高澤 啓[5]、鈴木 友梨[5]、白川 詩織[5]、杉江 学[5]、早田 茉莉[5]、朴 智加[5]、荒田 尚子[1]

（国立成育医療研究センター 女性総合診療センター 女性内科[1]、
国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 産科[2]、東京科学大学 産婦人科[3]、
東京科学大学 糖尿病・内分泌・代謝内科[4]、東京科学大学 発生発達病態学分野[5]）

**O7-3 2度の穿刺吸引細胞診で診断困難であったが外科的切除後に甲状腺濾胞型乳頭癌と診断された一例**

小林 弘靖[1]、兎川 久恵[1]、柳田 洸一朗[1]、浅井 久美子[1]、滝井 寛隆[1]、山内 元貴[1]、原 健二[1]、土屋 天文[1]、竹林 晃三[1]、丹羽 隆善[2]、小川 利久[2]、椎名 愛優[3]、下山田 博明[3]、伴 慎一[3]、橋本 貢士[1]

（獨協医科大学埼玉医療センター糖代謝・内分泌内科[1]、獨協医科大学埼玉医療センター乳腺・内分泌外科[2]、
獨協医科大学埼玉医療センター病理診断科[3]）

**O7-4 甲状腺萎縮を経時的に比較し得た、Pembrolizumab+Lenvatinib併用療法中に生じた粘液水腫性昏睡の1例**

大森 天心、細川 忠嗣、駒井 優樹、清水 雄也、鈴木 隆、飯沼 康平、土屋 恭一郎
（山梨大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科）

## 一般演題８

9月26日（土） 15：41 ～ 16：26

### O8 小児内分泌代謝・遺伝性内分泌代謝

座長：小澤 厚志
（群馬大学大学院保健学研究科 医学部保健学科）

向山 祐理
（虎の門病院 小児科）

**O8-1 特発性成長ホルモン分泌不全症における負荷試験結果判定の相違**

磯島 豪[1,5]、向山 祐理[1]、長谷川 奉延[2,5]、横谷 進[3,5]、田中 敏章[4,5]

（虎の門病院 小児科[1]、柏たなか病院[2]、福島県立医科大学[3]、たなか成長クリニック[4]、成長科学協会[5]）

**O8-2 低身長を呈した47,XXY型Klinefelter症候群の１例**

瀧澤 裕樹[1]、五嶋 由紀子[1]、辰島 啓太[1]、小川 哲史[3]、磯島 豪[3]、西岡 宏[2]、竹下 章[1]

（虎の門病院内分泌代謝科[1]、同 間脳下垂体外科[2]、同 小児科[3]）

**O8-3 筋力低下から診断に至った特発性低ゴナドトロピン血症の１例**

前原 一輝[1]、三好 優香[2]、佐々木 慧[3]、岡嵜 真希[3]、食野 仁美[3]、若松 成菜[3]、水野 朋子[3,4]、藤井 博子[3]、川本 博嗣[3]、小寺 力[3]

（自衛隊仙台病院内科[1]、相模原協同病院[2]、自衛隊中央病院代謝内科[3]、防衛医科大学校公衆衛生学講座[4]）

**O8-4 非機能性PitNETの診断を契機に原発性性腺機能低下症が明らかになった一例**

林 南帆[1]、久保 ゆい[1]、岡田 七海[1]、松本 和興[1]、菱田 吉明[1]、加納 麻弓子[1]、中川 朋子[1]、横田 健一[1]、柳澤 慶香[1]、松森 隆史[2]、高砂 浩史[2]、曽根 正勝[1]

（聖マリアンナ医科大学病院 代謝・内分泌内科[1]、聖マリアンナ医科大学病院 脳神経外科[2]）

**O8-5 遺伝子解析で確定診断に至ったGitelman症候群の１例**

辻 幸成、一城 貴政、加藤 聖乃、川元 さち、秋山 まこ、王城 人志、山下 馨、笠原 文子、池原 佳世子、比嘉 眞理子

（済生会横浜市東部病院）

# 第４会場

## 一般演題９

9月26日（土） 9：30 ～ 10：06

### O9 副甲状腺・骨代謝

座長：星野　良朋
（東京大学医学部附属病院　腎臓・内分泌内科）

井上　玲子
（帝京大学ちば総合医療センター　内分泌代謝内科）

**O9-1　意識障害および異常行動を契機に診断した高齢発症特発性副甲状腺機能低下症の１例**

石清水 隆人、相葉 南、中村 捷太郎、羽場 彩子、関根 直樹、持田 曜弘、門脇 聡、杉本 大介、佐藤 博亮
（順天堂大学医学部附属浦安病院糖尿病・内分泌内科）

**O9-2　PTH高値を伴う低Ca血症とTSH分泌反応低下を認め、PTH抵抗性が疑われた若年女性の１例**

畾 耀介、大曽根 朱夏、相葉 南、中村 捷太郎、羽場 彩子、関根 直樹、持田 曜弘、門脇 聡、杉本 大介、佐藤 博亮
（順天堂大学医学部附属浦安病院）

**O9-3　エボカルセトによる高カルシウム血症のコントロールに難渋した縦隔内異所性PTH産生腫瘍の一例**

高橋 洸太[1]、浅川 雅博[1]、清川 裕介[1]、河崎 瑛子[1]、河上 慶太郎[1]、山崎 佑子[1]、織畑 光一[2]、川真田 明子[2]、山澤 邦宏[2]、勝田 秀紀[1]
（東京逓信病院　内分泌・代謝内科[1]、東京逓信病院　外科[2]）

**O9-4　カボザンチニブ投与中に低カルシウム血症を呈した一例**

鈴木 陽、村井 幸四郎、小林 志奈、石塚 啓哉、木村 智佑、浅島 雄弥、滝澤 祥子、今西 明、山田 万祐子、鈴木 浩史、松林 泰弘、山田 貴穂、曽根 博仁
（新潟大学医学部医学科）

## 一般演題 10

9月26日（土） 10：06 ～ 10：42

### O10 内分泌腫瘍

座長：栗原　勲
（防衛医科大学校　医学教育研修センター）

川崎　朋範
（埼玉医科大学国際医療センター　病理診断科）

**O10-1　食後低血糖を主体とし，患者の自発的糖質制限により発症から診断まで22年を要したインスリノーマの一例**

岡 征児[1]、越 智通[1]、中島 健子[1]、瀧 雅成[1]、石井 良和[2]、関口 徹[2]、鈴木 崇史[2]、盛田 幸司[2]、笹島 ゆう子[3]

（上尾中央総合病院糖尿病内科[1]、帝京大学医学部内分泌代謝・糖尿病内科[2]、帝京大学医学部病理診断科[3]）

**O10-2　インスリノーマに膵臓顆粒細胞腫を合併し診断に苦慮した一例**

坂井 良行[1]、金子 真[1]、堀越 博文[1]、星野 良朋[1]、小堀 勤子[1]、竹内 牧[1]、中原 健徳[2]、太田 賢志[2]、大山 博生[2]、風見 由祐[3]、阿部 学[3]、西岡 裕次郎[3]、長谷川 潔[3]、槙田 紀子[1]、南学 正臣[1]

（東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科[1]、東京大学医学部附属病院消化器内科[2]、東京大学医学部附属病院肝胆膵外科[3]）

**O10-3　Second-Look Ultrasonography/Fine Needle Aspiration in the Breast Oncology Field - Cytopathological Analyses**

川崎 朋範[1,2,3]、相田 久美[2]、藤沢 美穂[2]、後藤 浩子[2]、小川 弘美[2]、城尾 柚那[2]、堀部 麗[2]、鈴木 雅子[2]、柳田 充郎[2]、近藤 瑛絵[2]、西尾 美紀[2]、徳光 宏紀[2]、杉浦 良子[2]、近藤 哲夫[3]、児玉 ひとみ[2]

（埼玉医科大学国際医療センター[1]、埼玉石心会病院[2]、山梨大学医学部[3]）

**O10-4　インスリノーマ腸間膜リンパ節再発による低血糖発作の治療に難渋した一例**

金子 凌也、堀口 和彦、金山 一茂、高橋 健太郎、植原 正也、吉川 将史、綿貫 裕、吉野 聡、松本 俊一、山田 英二郎

（群馬大学医学部附属病院内分泌糖尿病内科）

## 一般演題11

9月26日（土） 10：42 ～ 11：18

### O11 糖尿病・脂質代謝

座長：北澤 勝
（新潟大学医学部大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学分野）

原井 望
（虎の門病院 内分泌代謝科）

**O11-1 末梢神経障害を主訴に診断に至ったタンジール病若年男性の一例**

笹月 望[1]、後藤 広昌[1]、霜田 晴雅[2]、星野 泰延[2]、波田野 琢[2]、綿田 裕孝[1]
（順天堂大学大学院代謝内分泌内科学[1]、順天堂大学医学部脳神経内科[2]）

**O11-2 免疫チェックポイント阻害薬投与後に発症した膵島関連自己抗体陰性の急性発症1型糖尿病の一例**

松崎 佑希乃、小田原 紗羅、青山 倫久、桜井 賛孝、五十嵐 正樹、庄嶋 伸浩、山内 敏正
（東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科）

**O11-3 1型糖尿病合併妊娠の周産期管理にAdvanced Hybrid Closed Loop（AHCL）搭載インスリンポンプ療法を用いた1例**

清水 舞[1]、川崎 元樹[2]、佐藤 文紀[2]、辻野 元祥[2,3]
（立川相互病院[1]、東京都立多摩総合医療センター[2]、つじの内科クリニック[3]）

**O11-4 持続グルコースモニタリングで特徴的な血糖変動を確認し得たAKT阻害薬誘発性高血糖の1例**

黒木 真由、前島 優、船山 結希帆、新葉 亮、犬飼 峰彦、土屋 恭一郎
（山梨大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科）

## 一般演題12

9月26日（土） 11：18 ～ 12：12

### O12 副腎・高血圧

座長：木内 謙一郎
（慶應義塾大学医学部内科学教室 腎臓内分泌代謝内科）

鈴木 佐和子
（千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学）

**O12-1 妊娠中期に発覚した両側褐色細胞腫に対して治療方法を検討し保存的加療で無事出産に至った一例**

菊池 未来、村山 友樹、西野 哲平、阿部 晃子、小野瀬 耕、三谷 優太、大内 奈美、中島 里佳子、松田 高明、菅野 洋子、大崎 芳典、岩崎 仁、関谷 元博、島野 仁
（筑波大学附属病院内分泌代謝・糖尿病内科）

**O12-2 閉経後不正性器出血を契機に診断されたアンドロゲン過剰を伴う副腎皮質腺腫の一例**

石原 実、久保 晴丸、正木 嗣人、田所 克、辻 諭、一島 由加子、高野 幸路、宮塚 健
（北里大学医学部糖尿病・内分泌代謝内科学）

**O12-3 MACSを合併した造影不耐の原発性アルドステロン症に対する心腔内エコーカテーテルAcuNavを用いた副腎静脈サンプリングの1例**

山本 あんず[1]、菱田 吉明[2]、橋本 一樹[3]、楠田 修平[2]、長坂 智裕[1]、横田 健一[2]、宮下 和季[1]、曽根 正勝[2]
（聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 代謝・内分泌内科[1]、聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科[2]、聖マリアンナ医科大学 放射線診断・IVR科[3]）

**O12-4 副腎性コルチゾール過剰に伴う内臓脂肪変化と腎周囲脂肪組織の分子学的特徴**

渡邉 涼香[1,2]、鈴木 佐和子[1,2]、高橋 直也[1,2]、上 紗央理[1,2]、仲 理允[1,2]、岡野 公亮[1,2]、五十嵐 活志[1,2]、石渡 一樹[1,2]、横手 幸太郎[3]
（千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科[1]、千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学[2]、千葉大学[3]）

**O12-5 副腎静脈サンプリング及び副腎131Iアドステロールシンチグラムで責任病巣を確定した原発性アルドステロン症の一例**

長岡 潤[1]、登内 一則[1]、戸塚 淳[2]、増田 真之佑[2]、永井 隆[1]、山田 英二郎[2]
（公立富岡総合病院内科[1]、群馬大学医学部内分泌糖尿病内科[2]）

**O12-6 ACTH非依存性サブクリニカルクッシング症候群と副甲状腺機能亢進症を合併した糖尿病合併肥満症の一例**

田久保 正洋、高須 俊也、道又 皓介、入江 貴広、赤井 亮大、小林 厚志、小須田 南、山本屋 武、渡邉 健太郎、石原 寿光
（日本大学医学部内科学系糖尿病代謝内科学分野）

## ランチョンセミナー4

9月26日（土） 12：30 ～ 13：20

座長：竹内　靖博
（国家公務員共済組合連合会　虎の門病院分院）

### 1　スペクトラムとして捉える低ホスファターゼ症 ～早期診断とライフコース診療の重要性～

演者：髙澤　啓
（東京科学大学　発生発達病態学分野（小児科））

### 2　日常診療に潜む低ホスファターゼ症

演者：井上　大輔
（帝京大学ちば総合医療センター　第三内科学講座（内分泌代謝））

**共催：アレクシオンファーマ合同会社**

## ハンズオンセミナー

9月26日（土） 15：30 ～ 17：10

**甲状腺エコーの基礎**

講師：辰島　啓太
（虎の門病院　内分泌代謝科）

鈴木　優矢
（虎の門病院　内分泌代謝科）

**共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社**